

アートはサイエンス

-Art is Science-



HAKONIWA@daisy*

コンピューターを駆使した“最先端の科学技術”による製品が身の回りにあふれる現代。科学の進歩にあわせて、私たちの生活も変化してきました。それに伴い、美的感性もまた多様化しているのではないのでしょうか。

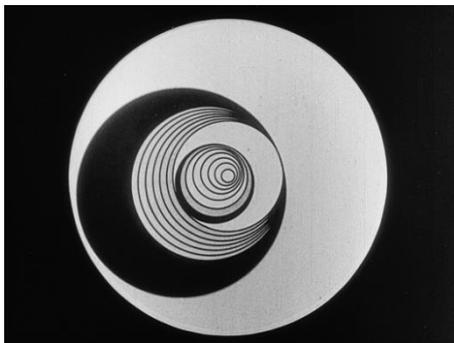
この展覧会では、多様化する“現代美術”の新たな動向として、科学の発展を味方につけた表現をご紹介します。機械の動力を用いた初期の実験的作品から、CG やビデオによる映像表現、最新のテクノロジーによる現代作品までをご覧ください。

美術史の上で重要な作品に加えて、CG 世界に入っていける新感覚の体験型アートなど、美術がお好きな方はもちろん、お子様から大人まで楽しめる展覧会です。

【第1展示室】芸術家と科学技術との出会い —機械仕掛けの美術—

機械や科学技術、またその動力が芸術制作のための材料のひとつとして用いられた作品を展示します。

- ・マルセル・デュシャン 《アネミック・シネマ》(1925-26)
- ・ジョー・ジョーンズ (自動演奏するヴァイオリン)
- ・田中敦子(電気配線図から着想を得た絵画作品)
- ・松田豊 (キネティック・アート)
- ・鬼頭健吾 《active galaxy》 ※現在進行形のパターンとしての展示



マルセル・デュシャン 《アネミック・シネマ》
1925-26年
Marcel Duchamp, Anémic cinéma 1925-26
Courtesy of "Unseen-Cinema: Early American Avant-Garde Film 1894-1941", a film preservation collaboration between Anthology Film Archives and Deutsches Filmmuseum and generously supported by Cineric, Inc. www.unseen-cinema.com



鬼頭健吾 《active galaxy》
群馬県立近代美術館、2015 active galaxy
撮影 Shinya Kigur

【第2展示室】領域の拡張 —テクノロジーと美術—

国際的なメディアアートの先駆者土佐尚子による、インクやドライアイスの動きをハイスピードカメラでとらえた映像空間を体感いただけます。

また、機械の美に着目した四谷シモン、荒木博志の立体作品も紹介します。

- ・土佐尚子 (映像インスタレーション)
- ・四谷シモン 《機械仕掛けの少女 1》
- ・荒木博志 《Astroboy》、他 ※現在進行形のパターンとしての展示



荒木 博志 《Astroboy》1993年
Galerie LIBRAIRIE 6
奥村純一 © Galleria AMICA

【第3展示室】 河口洋一郎のCG芸術(仮)

CG(コンピューターグラフィックス)による造形作品をその創世記より切り開いた作家、河口洋一郎の作品を展示します。

【第5展示室】 拡張される表現世界の展開 -映像作品を中心として-

ブラウン管テレビとアナログ映像を使用した時代から約60年、その間に急成長したメディアとテクノロジーは時代の最先端技術として芸術家に用いられてきました。

- ・ナム・ジュン・パイク 《Global Groove》、他
- ・Seiei Jack (映像作品)
- ・ヤン・ヨンリァン (デジタルコラージュ)
- ・西島治樹 《Remain In Light》

【第6展示室】 科学が切り開いた“芸術への参加”

今日、3DCGをはじめとしたインタラクティブコンテンツが話題を集めています。最新のテクノロジーに支えられ、参加する人を含めた体験空間そのものが新しい現代アートの形となる、テクノロジーと芸術の融合を展示します。

- ・daisy* (稲垣匡人) 《HAKONIWA》、《Lazy Arms》

* 出品作品は事情により変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

* 第4展示室は常設のため使用しません。

【展覧会概要】

展覧会名 「アートはサイエンス」展
 期 日 2017年4月29日(土・祝)～9月18日(月・祝)
 休館日 毎週火曜日(8月無休)
 開館時間 4～6月:10時～17時、7～9月:10時～18時 ※入館は閉館30分前まで
 場 所 軽井沢ニューアートミュージアム
 観 覧 料 一般1,200円、高大生・65歳以上900円、小中生600円
 ※20名以上の団体で来館の場合、各観覧料の300円引き
 ※未就学児無料、障がい者無料(付添いの方一名は半額)
 企画・主催 一般財団法人 Karuzawa New Art Museum
 ゲストキュレーター 伊東順二

連絡先：〒389-0102
 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1151-5
 一般財団法人 Karuzawa New Art Museum
 主任学芸員 鈴木一史
 TEL：0267-46-8691 / FAX.0267-46-8692
 Mail：suzuki@knam.jp

アートはサイエンス

-Art is Science-

広報用画像申込書

軽井沢ニューアートミュージアム 広報課宛

FAX:0267-46-8692/E-mail:pr@knam.jp

本展覧会広報用素材として、作品画像をご用意しております。

ご希望の際は以下申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックスまたは E メールにてお申込みください。なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

○キャプションは指定したとおりに表記してください。

(作品ごとに異なります。画像貸出時に詳細をお伝えします。)

○トリミング、文字乗せ、着色等の加工・編集は行わない。

○申請された目的以外に使用しないでください。

○本展記事をご紹介いただく場合には、情報確認のための校正と、掲載された印刷物(掲載紙、DVD、CD に転写したもの等)をお送りください。

媒体名：	種別： <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 <input type="checkbox"/> フリーペーパー <input type="checkbox"/> ネット媒体 <input type="checkbox"/> 携帯媒体 <input type="checkbox"/> その他()	発売・放送予定日： 年 月 日
御社名：	ご担当者名：	電話番号：
FAX 番号：	ご住所：	メールアドレス：









※希望される画像の左横の□にチェックを入れてください。